



かこう岩く奇跡の星の奇跡の岩石

秋田と青森の県境を少し越えたところに、かこう岩という岩石があります。かこう岩は、ごほんにゴマをまぶしたように見える、マグマが地下深くで固まった石です。この岩は、白神山地の核心地域にもつながっていて、白神山地の成り立ちを考える上でとても大事な岩石です。

実は、かこう岩はたいへんありふれた石です。みかげ石といって石材として良く使われます。地球上のどこにいても見られる、これ以上当たり前の石はないというくらい、普通の石です。

しかし、太陽系の他の惑星を調べると、このような石はどこにもありません。月にもありませんし、火星にもない。他の惑星でも全く見つかっていません。まさに、地球にだけあるのがこの「かこう岩」なのです。

地球は、太陽から適度な距離にあったため暑すぎもせず寒すぎもせず、たつぷりと水のある惑星になりました。金星は太陽に近く暑すぎますので、水は一滴もありません。火星の水は、火星の北極と南極で凍りついています。地球だけが液体の水でできた海を持っているのです。もちろん、地球の生命もこの海の中で育まれてきました。

話が難しくなりますので、詳しい話は省略しますが、地球科学者の研究によると、海の水が、地下深くに運ばれることによって、かこう岩を作るマグマができました。

地球には生き物が満ちあふれていますが、そのような惑星だからこそ、地球には、かこう岩があるのです。これこそ、奇跡の星の奇跡の岩石ということができるでしょう。

また、私たちが住んでいる日本列島の中身をつくっているのはかこう岩です。私たちが日本で暮らせるのも、地下のかこう岩がその浮力で日本列島を支

えているからです。

昔の人は巨大なカメが大地を支えていると信じていました。同じような伝説が世界各地にあります。このカメの正体は実はかこう岩というわけです。

さて、白神山地のかこう岩ですが、海の水の力で丸くなってまるでおにぎりのような形になっています。そこで、私の考察した「かこう岩おにぎり」のレシピを紹介しましょう。かこう岩の中にある、カリ長石という黒い鉱物を鮭フレークで、黒雲母という黒い鉱物をごまで表現してみました。

◆かこう岩おにぎりの作り方

- ① ご飯を炊く。おにぎり1個あたり1/4合。
- ② ご飯が炊きあがったら、ボールに1/4合のご飯を取り鮭フレーク10gを加える。スプーンでよく混ぜる。
- ③ ②を、おにぎりにする。
- ④ できたおにぎりにゴマをばらばらとまぶす。表面の10%程度をゴマがおおうようにする。

生命の星地球に奇跡的に誕生した、「母なる海と大地、それを支えるかこう岩」に思いを馳せながら食べたいものです。このおにぎり、かなりおいしいのでおすすめです。



かこう岩にそっくりなおにぎり(写真上)とおにぎりにそっくりなかこう岩(写真下)

秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427